



「お客様の生産現場に最適な設計や改善を提案することが腕の見せ所です」
統括主幹 神保正博

新サン電子株式会社の統括主幹である神保正博様に、実際に行っている業務内容や取り扱っている製品についてインタビューしました。

目次

1. 「超音波」を扱う新サン電子
2. お客様の要望を反映できるオーダーメイド
3. 自社でできることに特化する
4. 思い描く理想の会社



神保 正博
新サン電子株式会社
統括主幹
昭和 37 年生まれ



新サン電子株式会社
資本金 1千万円
創業 平成 21 年 10 月

1. 「超音波」を扱う新サン電子

— どのようなお仕事をされていますか？

超音波洗浄を行う装置の製作やメンテナンス、板金物や部品加工などを行っています。

超音波の工業機器がメインの会社ですが、その分野にとらわれず、他にも様々な生産設備の設計製作も手がけています。

— 取り扱っている超音波洗浄について教えてください。

超音波洗浄というのは水や洗浄液に超音波で振動を与えて汚れを落とす方法です。

主に精密機器や電子機器の洗浄、樹脂や金属部品の加工、医療の分野でも活用されています。最も活用されているのが光学という分野で、身の回りの様々なレンズやガラスの洗浄に使われています。

光学部品や金属部品などの加工の際に表面についた油やホコリ、研磨した細かい粉などを超音波洗浄できれいにしてから仕上げ加工を行い、製品へと変わっていきます。

2. お客様の要望を反映できるオーダーメイド

— 実際に製作されている商品やその流れについて教えてください。

私たちが製作する設備は、お客様から要望を聞いてオーダーメイドで超音波洗浄機を作っています。

製品の生産現場にはその企業の特色が色濃く反映されるので、実際に超音波洗浄機をどのように利用するのか、生産している製品はどんなものか、深く理解しないと設計ができません。

設置する場所のスペースや連携する機械との同期、制約条件が全体最適するように「ヒアリング調査」を実施してから設計しているんです。

私たちの仕事の特徴は「ヒアリング調査」に必ず設計者も同行するようにしていることなんです。設計者も同席することで設備の納期や細かな疑問を即座に回答することができ、よりお客様の思い描くものに近づけることができると考えています。

最近では洗浄するガラスなどの材質も薄く、柔らかく変化してきていて、洗浄液の種類、超音波の周波数などを新しい材質に合わせて変えなければいけません。

このような問題点にもこれまで培ってきた実績や経験を元にお話することができ、希望に沿った提案ができるので私たちの強みであり、腕の見せ所です。



お客様のニーズにお答えするために各工程、職人が手作りで行っています。

3. 自社でできることに特化する

— 新サン電子の超音波装置の特徴を教えてください。

新サン電子では装置の中に、1種類の周波数で洗浄できる部屋がいくつも配置されている『多槽式』の設備を提案しています。

— 『多槽式』の設備について教えてください。

バスケットと呼ばれる洗浄物をいれるかごがいくつも内蔵されている超音波洗浄装置です。

工程ごとに部屋が別れているので納品後でも取り外しや改造が簡単にできます。

装置の使用を決めるとき、最初は洗浄液から選んでいきます。製作する装置を使って何を洗うのかで洗剤や溶剤が変わってくるので。その次にお客様の要望に合わせたバスケットを製作していきます。

納品する前には必ず、設置される予定の会社に設計者や技術者と見学に行きます。

実際に現場を見て社員同士で「こうしたほうがいいんじゃないか」とか相談しながら環境に合わせた設計のイメージを膨らませます。



新サン電子で取り扱っている『多槽式』の洗浄装置

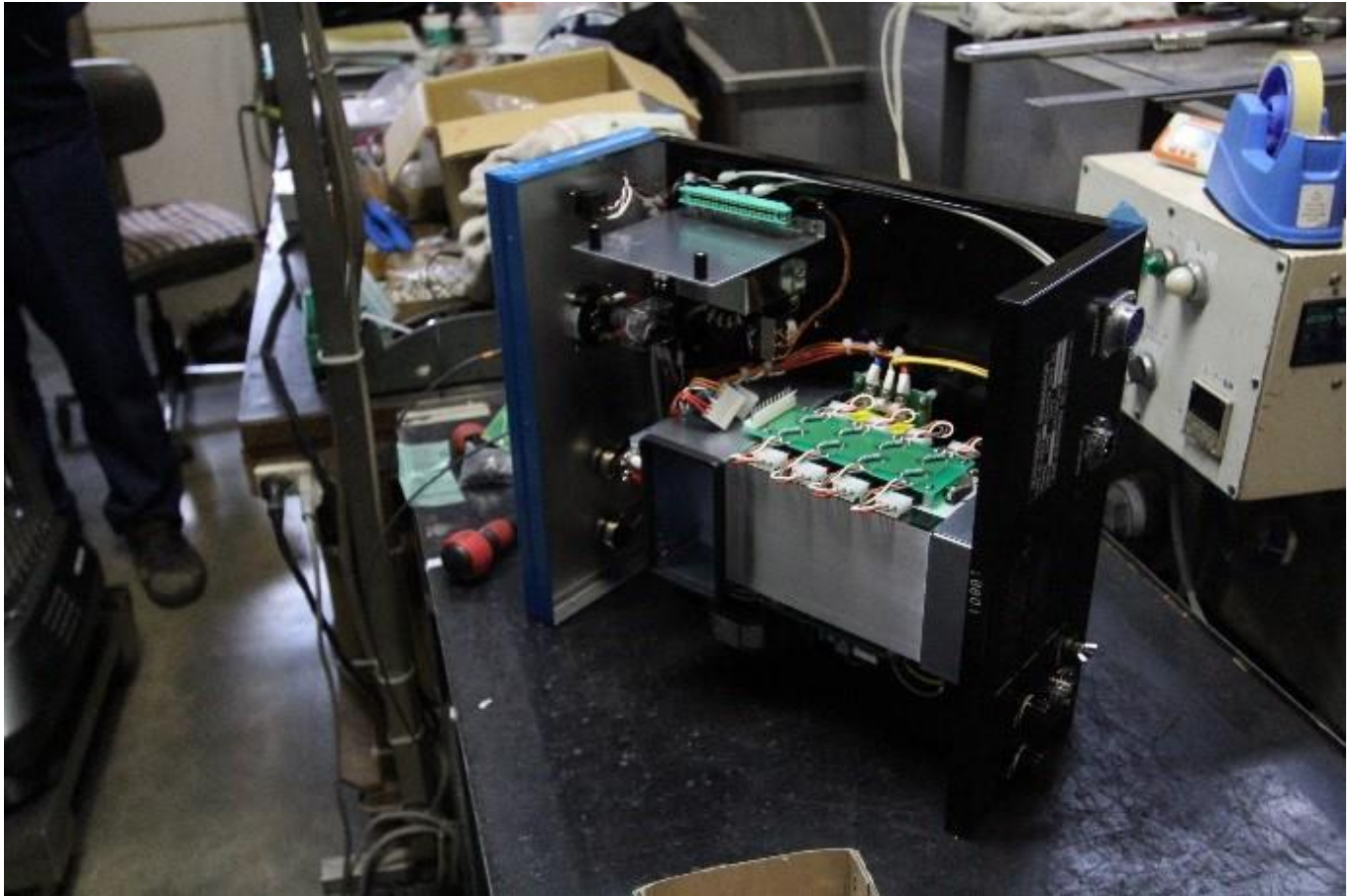
— 設備を扱う上で重要視していることはなんですか？

お客様の環境や要望に合わせた設計をしますが、納品後の設備の動きは予想ができません。機械は生き物だと思っているので。

現場において実際に稼働してみると自社テストでは見えてこなかったトラブルや改善点が見えてきます。製品が熱膨張するものだと形が変わって動きがずれたり、水中のセンサーが反応しなかったり。

装置が形として完成はしていても製品を洗浄する環境としてはまだ未完成なんです。なので納品してから何日間かはその土地に泊まりこみで様子を見たり、山形から近い土地だと片道3時間、4時間かけても通って、すぐに対応できる体制を整えています。

オーダーメイドなので現場に入れて何時間も稼働させてからわかることもありますが、まずは事前にお客様のところに行って少しでも問題点になりそうな部分を見つけてくることを大事にしています。



お客様の環境に合わせた部品作りを一つ一つ行っている。

4. 思い描く理想の会社

— 今後のビジョンについて教えてください。

短納期でもお客様の納得できる製品をお届けできるように、一人一人が技術的にスキルアップし、時代の流れに対応できるようにしていきたいと思えます。

また部品一つにしても、今までより良い物をコストダウンして提供できる工夫や装置の稼働率の上がるような方法も考えていきます。

— 最後にお客様へのメッセージをお願いします。

私たちの取り扱う製品や超音波についての知識を、自分たちだけで所有していてもしょうがないと思えます。

超音波というものが身近でない方にも理解してもらえるように情報を積極的に発信して、地域社会に貢献していきたいと思えます。

